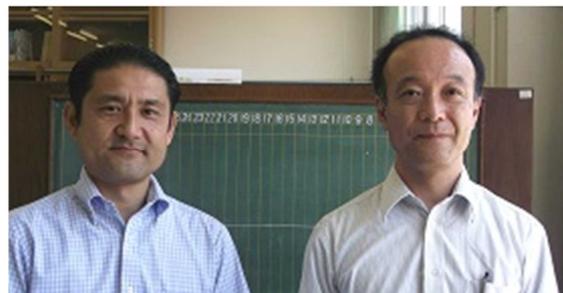


注目の新設校インタビュー

お話 千葉県立東葛飾中学校 (仮称)

開設準備室 副校長 加茂 進 先生
校内準備委員長 菅原 大介 先生



菅原先生

加茂先生

編集部 よろしくお願ひします。早速ですが、千葉中学校に続く県立の中高一貫校の2校目を東葛飾高校に設置することになった経緯からお聞かせください。

加茂 千葉県教育委員会では、「社会の変化に対応し、活力があり、生徒それぞれの豊かな学びを支え、地域のニーズにこたえる、魅力ある県立高等学校づくりを進めており、「社会のニーズに対応した教育」として、いわゆる中高一貫校の設置を決めています。中高一貫教育に対する県民のニーズや地域的なバランスを踏まえ、伝統と実績を有することから東葛飾高校に中学校を併設することになりました。

編集部 東葛飾高校といえば、第三学区屈指の進学校ですが、中高一貫教育の目的や教育方針をお願いします。

加茂 開校理念は「世界で活躍する心豊かな次代のリーダーの育成」です。中高一貫教育方針は「互いに高め合う、系統化された一貫教育で豊かな人間力を培う。」と「伝統、実績、真の学びで揺るぎない学力を育む。」です。どちらも千葉中学校とほぼ同じで、千葉県立の中高一貫教育に共通するものです。

編集部 同じ目的や教育方針で中高一貫教育を行うわけですね。異なる点はあるのでしょうか。

加茂 東葛飾高校は千葉高校と異なる歴史、伝統があり、千葉中学校開校時とは社会環境も変わり始めていますから、具体的な教育の柱は異なってきます。東葛飾高校に併設される中学校では、「すべての生徒が、東葛飾高校で活躍できるレベルに『学力』、『人間力』、『教養』を高めること」、「グローバル社会で活躍するための基礎を身に付けること」を学びの柱としました。

編集部 中学校は2クラス80名募集で、高校1年生

に内部進学すると、外部からの入学生と混合クラスになる予定ですね。

加茂 はい。東葛飾高校は東葛地区トップの進学校で、地元だけでなく周辺の地域の中学校からトップレベルの生徒が入学してきます。その生徒たちに、大学受験勉強だけではなく、自主自律の校是のもとで学力・人間力・教養を高める教育を行っています。内部進学生には、学習活動や学校行事などで高校入学生の先頭に立って活躍してほしいと思っています。

編集部 そのためにどんな教育を実施するのでしょうか。

加茂 まずは中高一貫教育方針にも掲げている「揺るぎない学力」を育成することです。本校の考える「揺るぎない学力」とは、物事の本質を追究し真の教養を身に付け、未知の課題に対応できる能力です。単なる暗記や問題を解くための小手先のテクニックではありません。そのため本校では、学習指導を最重要視しています。例えば、あるレベルやステップを確実に1つずつクリアしていくハードルクリア型学習を行い、基礎的基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせたい。これは各種検定対策にも有効です。教員間の連携を強め、少人数学習もきめ細かく行っていきます。特に開校時は中学生指導経験の豊かな教員を配置、個々の生徒の適性、能力、個性に対応した主体的な学習ができるようにします。

編集部 中3で高1内容を学習するような先取り学習はいかがでしょうか。

加茂 先取りよりも深く学習することに重きを置きます。東葛飾高校で先頭に立つには、いつも好奇心をもち、主体的に学ぶことで本質を探究する姿勢が大切です、それが高い教養の修得や、将来の進路選択に大きな役割を果たします。ですから学び合いや知

的好奇心を重視したアクティブラーニングも行って、常に能動的に探究していくトレーニングを積ませて、「揺るぎない学力」育成につなげていきます。

編集部 中学校では、ICTを活用した教育が特色の1つとうかがっていますが、どのような教育を行っているのでしょうか。

菅原 現在詳細を構想中ですが、電子黒板に様々な画像を投影する装置は教室につけたいですね。その他、双方向性を目指した機器等の導入も考えています。

編集部 もう少し詳しくお願いします。

菅原 授業というと、教員が黒板で一斉懸命説明し、生徒は聞きながらノートをとる、といったイメージがありますが、これからの時代、それだけでは不十分だと考えています。生徒たちに「わかった」という気持ちを心の底から持ってもらいたいのです。そのためには、教員が疑問点や課題点を投げかけ、生徒たちが自分の力で解決への道筋を探し出すことが大切です。

編集部 教員が教えることをコピーして修得するのではなく、生徒自身が解答を探していくのですね。

菅原 そうです。生徒同士、議論になることもあるでしょうし、お互いに学びあうこともあるでしょう。どの授業も生徒自身に発見があれば、内発的な意欲につながります。そして授業の最後に、生徒自身がわかったことをプレゼンすることで、表現力の育成の面でも効果があります。アウトプットはしっかりできるようにしたいですから。

編集部 まさにアクティブな学習ですね。

菅原 今はいろいろなところでアクティブラーニングが言われていますが、言葉が先走っているようです。プレゼンをやれば、ICT機器を使えばアクティブラーニングだ、という誤解もあります。アクティブラーニングは、まさに「能動的に」取り組むことですから、たとえば生徒たちにシートを配って、各自が考え、その後話し合っ一つの課題を解決していくこともできます。ただ、ICT機器を使えばより高い効果が期待できますから、設備の検討とともに効果的な授業の進め方を検討、実施していきたいと考えています。

編集部 こうした能動的な学習の成果はどのような

ところに現れるのでしょうか。

菅原 グローバル化の時代に活躍していくには、主体的な学習姿勢を身に付け、力を発揮していくことが必要ですが、その前に東葛飾高校の自由研究で力を発揮、さらに磨きをかけてもらいたいですね。

編集部 東葛飾高校では自由研究を行っているのですか。

菅原 東葛飾高校の自由研究は40年以上の歴史があります。生徒たちが各自でテーマを決め、1年間研究活動を行い、最後は論文として完成させるものです。中学生のうちから「なぜ」「どうして」を意識し、能動的に探究していく姿勢を身に付けていくことで、高校では今まで以上に深い自由研究ができるようになるでしょう。

編集部 グローバル化への対応ですが、語学についてはいかがですか。

加茂 学校設定教科や英語の授業でグローバル化に対応する教育を行っています。英語については単に聞いて読むだけでなく、話して書ける英語力育成に力を入れ、この4技能を土台に、英語による情報収集や情報発信ができるように育成していきます。

編集部 英語を「使う」わけですね。

加茂 英語運用能力は、単に文法事項を身に付ける、英語で自己紹介をする、といった程度ではダメで、相手の話す英語の内容から課題点を捉えて、自分の意見や気持ちを英語で伝えなければなりません。ですから中3では実習として海外研修も計画しています。原則として、全員参加を考えています。海外で人々とふれあい、海外からの視点で己を知り、自分の将来を考えることは、必ず大きなプラスになります。

編集部 今度は生活面についてうかがいます。週5日制ですね。

加茂 正規の授業は月曜～金曜の週5日、50分授業週31時間で、日によっては7時間目もあります。さらにプラスアルファで放課後に学習指導日を設定し、授業で身に付けた内容がしっかりと定着するようにトレーニングを積んでいきます。

編集部 昼食はお弁当ですか。

加茂 食育を考えて、中学生のうちは給食を検討しています。

編集部 中学生は高校生と一緒に校舎になるのでしょうか。

加茂 いいえ。現在校内に中学生用の新校舎を建設中です。授業は新校舎ですね。部活動は連携できる範囲で高校生と一緒に、と考えていますから、高校の校舎も使うこともあるでしょう。ただ、東葛飾高校は自主活動が活発で、部活動の活動日数も多いため、学習習慣や基礎学力が不十分だと日常の学習に支障をきたします。中学生は一定の範囲で可能なところから、になります。



中学校の新校舎

編集部 土曜日の活用はいかかですか。

菅原 高校で土曜日を中心にリベラルアーツ講座を開講していますので、中学生もできるだけ参加するようにしていきたいと思います。

編集部 どんな講座ですか。

菅原 本校教員が担当する講座だけでなく、大学教授や外部の専門家、実際に医療現場で活躍する医師が講師になることもあります。講義形式だけでなく、研究所などへ出かける講座、宿泊しながら農村歌舞伎を鑑賞する、といった体験型もあります。

編集部 東葛飾高校には医歯薬コースがありますが、医療系の内容が中心なのですか。

菅原 いいえ。医歯薬コース向けの「医療系関係講座」もありますが、発展的な「一般教養講座」もあり、歴史や文化、数学や自然科学、美術もあれば最先端技術もあります。中学生には高校の医歯薬コースを見据えて、医学、歯学、薬学の一端に触れる機会を作りますが、全員がそちらに進むわけではあり

ませんから、幅広く高度なリベラルアーツに触れてほしいと思います。

編集部 中学生には少しレベルが高いような気もしますが。

菅原 保護者の参加もできる講座もありますから内容は高度ですが、ハイレベルだと思える講座でも、中学生には吸収力がありますから、何回か参加しているうちにわかってくるでしょう。こうした体験が、将来の進路を考える土台につながっていきます。

編集部 では入学者選抜についてお聞かせください。

加茂 一次検査と二次検査の2段階で、一次検査は12月5日に適性検査1-1・1-2を実施します。12月21日に合格発表で、合格した受検生には1月30日に二次検査として適性検査2-1・2-2と面接等を実施します。日程や方法、検査問題は県立千葉中と同一ですが、二次の面接等はそれぞれで実施しますので、異なる内容になるかもしれません。二次の合格発表は2月5日です。

編集部 最後に受検生、保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

加茂 当たり前のことかもしれませんが、学校で過ごす大半の時間は「授業」です。だから、「授業」に真剣に取り組む気概のある子どもたちに入学してほしいですね。本校の「授業」は、学力育成の場にとどまらず、人を育てる最も重要な場です。「授業」を通じて、自分が身に付けた知識や技能を様々な人と協力しながら高め合い、よりよい社会の実現に向けて活用しようとする豊かな人間力を培いたいと考えています。

菅原 ぜひ「東葛」で学んでみたい、と考える生徒、日々の生活を明るく前向きに取り組む生徒に来てほしいと思います。開校準備にあたっている教員は中学生の発達段階をよく知っている教員が揃っていて、東葛飾高校の良さを十分理解したうえで生徒を指導していきますので、お任せいただきたいと思います。

編集部 ありがとうございます。

千葉県立東葛飾中学校(仮称) 交通案内 常磐線・東武野田線柏駅徒歩10分

○ 説明会 8月25日～27日に柏市民文化会館で実施予定 詳細はホームページ

「<http://cms1.chiba-c.ed.jp/tohkatsu/中学校開設準備室/>」をご参照ください。